

アコヤガイ

分類：ウグイスガイ目 ウグイスガイ科 (二枚貝綱 翼形亜綱)

学名：*Pinctada fucata martensii*

英名：Japanese pearl oyster

養殖真珠を作る母貝として有名で真珠貝とも呼ばれる、殻の大きさは7~10cmの四角形状で腹縁は円い。翼状突起は前後ともに短い。重量は30~40g位である。殻の表面は茶褐色で、緑褐色の放射条をもつ。殻皮は櫛皮茸状突起が見られる。左殻は少し膨み、右殻より大きい。殻の内面の成長部分は表皮と同じ殻皮層をもち、その内側は銀緑色に美しく輝く真珠層に被われる。分布域は、房総、能登半島以南の暖海でアラフラ海にも及ぶ。潮間から水深20m以浅の岩礁底に生息する。同属のもので熱帯海域に生息する、シロチョウガイ *P. maxima*、クロチョウガイ *P. margaritifera* がある。



アコヤガイ



真珠



アコヤガイの採取



アコヤガイ



クロチョウガイ



アコヤガイ

アコヤガイ



アコヤガイの採取



核の挿入



アコヤガイの飾り



真珠のネックレス

